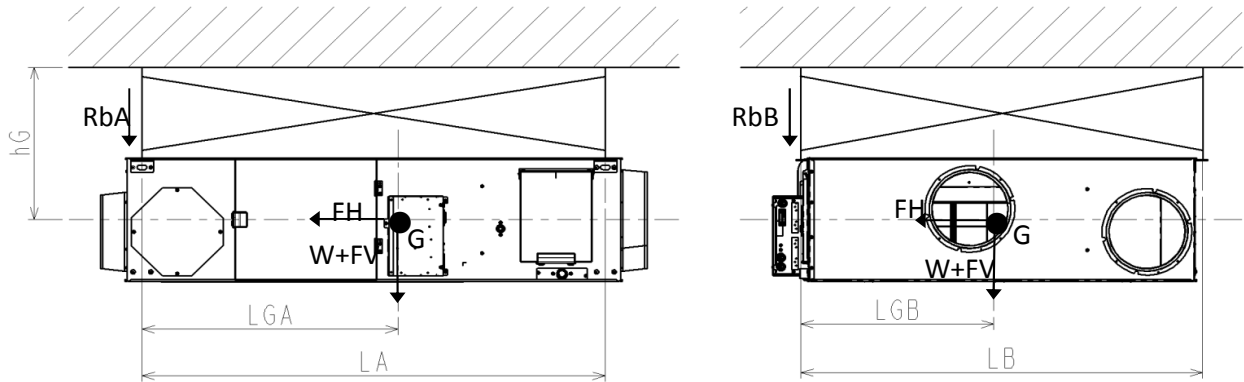


■ 業務用ロスナイ LGH-N65RKS2(D),RKX2(D) 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W =	72.0	kg	ボルトから重心	LGA =	645	mm
重心高さ	hG =	500	mm	までの距離	LGB =	476	mm
ボルトスパン	LA =	1300	mm	ボルトサイズ		M10	
	LB =	985	mm	ボルト総本数	n =	4	本
				片側ボルト本数	nt =	2	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果						
設計用標準震度	KS		1.0	1.5	2.0	
地域係数	Z		1.0	1.0	1.0	
設計用水平震度	KH=KS×Z		1.0	1.5	2.0	
設計用水平地震力	FH=KH×W		0.71	1.06	1.41	kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2		0.35	0.53	0.71	kN
アンカーボルト引抜力			・ボルトスパンA側(RbA) 0.40 kN 0.51 kN 0.63 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.45 kN 0.59 kN 0.72 kN			
アンカーボルトせん断応力度			0.32 kN/cm ² 0.48 kN/cm ² 0.64 kN/cm ²			
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率						
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)			8.4	6.5	5.3	倍
短期許容引抜荷重: 3.8 kN						
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率						
ボルト(SS400)			31.5	21.0	15.7	倍
短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²						
ステンレスボルト(A2-50)			28.4	19.0	14.2	倍
短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²						
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する						

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。